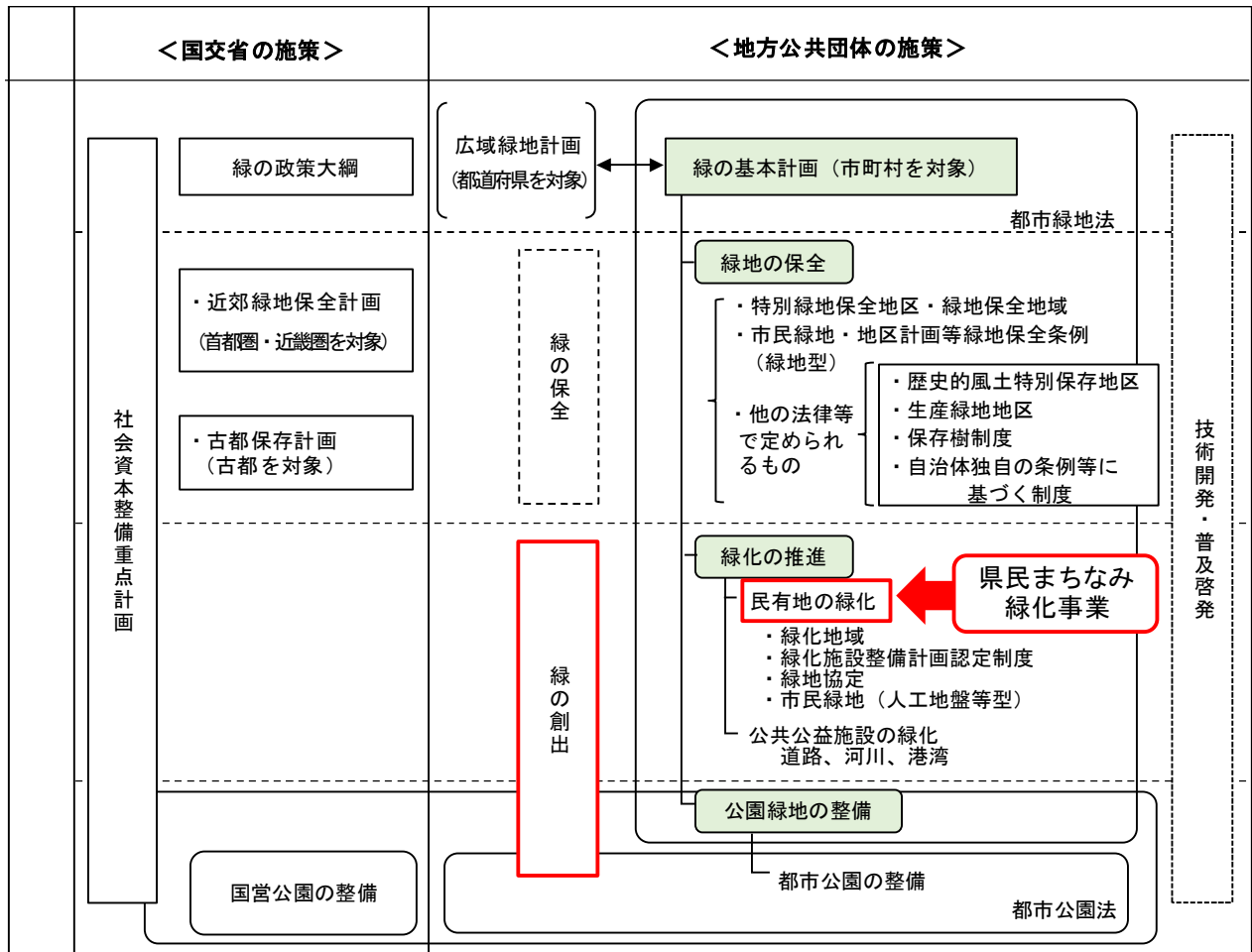


第3期(平成28～令和2年度)の半ばを過ぎた今年度、まちづくり審議会に花緑検討小委員会を設け、同事業の緑化による効果の確認および検証を行なっているところである。

これまで3回の小委員会を行なっており、検討状況について報告する。

○ 主な都市緑化施策と県民まちなみ緑化事業の関係



(国土交通省HP 公園と緑の概要 施策の体系に一部加工)

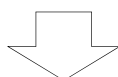
都市における環境改善や防災性の向上を図ることを目的として、県民緑税を活用した「県民まちなみ緑化事業」を実施し、住民団体、個人・法人等による植樹や芝生化などの緑化活動に対して補助を行なっている。

○実施メニュー: 一般緑化、芝生化(ひろば、校園庭、駐車場)、建築物の屋上・壁面緑化、大規模都心緑化

1. 花緑検討小委員会 評価・検証スケジュール

平成 30 年度～令和元年度 県民まちなみ緑化事業 第3期事業の評価・検証

	年月日	審議内容
第 1 回	H31.3.26	<ul style="list-style-type: none"> ・花緑検討小委員会の検討事項について ・第3期事業の評価・検証作業の概要について
第 2 回	R1.7.30	<ul style="list-style-type: none"> ・評価検証事項の検討 ・第3期事業の実施状況 ・第3期事業により得られた効果
第 3 回	R1.10.31	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価検証事項の検証結果報告 ・報告書(素案) ・事業実施者向け追加アンケートの実施について
第 4 回	R2.2 頃	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書(案) ・次期事業(案)検討

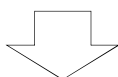


令和 2 年度

ひょうご花緑創造プランの中間評価

県民緑税第 3 期対策の効果検証

報告書(案) 実績等修正



令和 3 年 3 月

報告書公表

2. 花緑検討小委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏 名	職 名
大 藪 崇 司	兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科准教授
岡 牧 生	特定非営利活動法人 JLC 兵庫理事
中 野 加都子	甲南女子大学人間科学部生活環境学科教授
平 田 富士男	兵庫県立大学大学院緑環境景観マネジメント研究科教授
森 川 勝 仁	特定非営利活動法人シビルまちづくりステーション西日本支部長
森 山 正 和	神戸大学名誉教授
山 田 宏 之	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授

3. 県民まちなみ緑化事業(第3期)の評価・検証について

目標の達成状況

【県民まちなみ緑化事業(第3期 H28~H30)の実施状況】

- ① 住民団体による緑化活動の推進
目標：600団体／5年 実績：591団体／3年
- ② 校園庭の芝生化における緑化面積
目標：250校園／5年 実績：72校園／3年
- ③ 人口集中地区における緑化面積
目標：50ha／5年 実績：18.8ha／3年

実態把握

◆ 事業実施に係る調査

【生育状況調査】 適切な維持管理の推進

【県民まちなみ緑化事業実施者に対するアンケート調査】

- ① 求められるサポートの内容
- ② 維持管理の問題点

【校園庭の芝生化に関する調査】

- ① 小規模面積への対応
- ② 維持管理活動への支援
- ③ 技術的アドバイスの拡充

◆ 実態調査

【ヒアリング調査】 事業実施団体に対する事業効果、課題、必要な支援等を聴取

事業効果（環境効果、景観効果、防災効果など）

◆ 計測調査

- ① 緑視率調査
- ② サーモグラフィ調査
- ③ 暑さ指数（WBGT）調査

◆ 事業実施に係る調査

【校園庭の芝生化に関する調査】

- ① 芝生化の効果（幼稚園、保育所、認定子ども園等の子ども達 への効果等）

【県民まちなみ緑化事業実施者に対するアンケート調査】

- ① 事業に対する満足度
- ② 緑化の効果

費用対効果（環境・景観面、防災面）

県民まちなみ緑化事業（第3期）事業実績から、

- ① ヒートアイランド緩和機能、
- ② 二酸化炭素低減効果、
- ③ 地価の変動を指標とした環境・景観改善効果、
- ④ 都市水害防止機能、
- ⑤ 延焼防止機能 の効果を算出

事例調査・状況変化に関する調査

◆ 緑化事例調査

【都市部における緑化トレンド】

最新の都市の暑熱対策を中心に、都市部における具体的な事例を確認・整理

【他府県等の事例調査】

他の都道府県で実施されている緑化事業について確認・整理

◆ 事業を取り巻く状況の変化に関する調査

各種報告資料等から、① 平均気温の上昇と将来予測、② 豪雨（大雨）の発生回数の増加、③ 熱中症救急搬送者の増加等の状況の変化を整理

◆ 事業に伴う波及効果の調査

事業実施者に緑化により実感している効果に関するアンケート調査を実施

- ① 事業メニュー別の効果の特徴、
- ② 波及効果の程度を整理

課題の整理や今後の事業展開に向けた検討を経て、報告書作成へ

<今後の展開方向>

- 市街地における緑化の推進
- 暑熱・災害対策に資する緑化の推進
- 住民団体における緑化活動の支援の推進
- 適切な維持管理の推進
- 子育て支援に資する緑化の推進

4. 県民まちなみ緑化事業(第3期)評価・検証報告書 目次案

第2期評価検証	第3期評価検証
I 事業概要	I 事業概要
II 事業実績	II 事業実績
1 年度別の事業実績	1 年度別の事業実績
2 地域別の事業実績	2 地域別の事業実績
3 緑化手法別の事業実績	3 緑化手法別の事業実績
III 第2期事業の効果	III 第3期事業の効果
1 事業効果の評価・検証	1 事業効果の評価・検証
2 事業効果① 公益的效果	2 事業効果① 公益的效果
2-1 環境効果	2-1 環境効果
(1) ヒートアイランド現象緩和効果	(1) ヒートアイランド現象緩和効果
① ヒートアイランド現象の緩和	① <u>ヒートアイランド現象の緩和</u>
② 地表面温度の低下	② 地表面温度の低下
③ 緑陰形成による体感温度軽減	③ <u>緑陰形成による体感温度軽減</u>
④ 涼しさの実感	④ 屋上緑化による消費電力削減
⑤ 屋上緑化による消費電力削減	
(2) 二酸化炭素低減効果	(2) 二酸化炭素低減効果
(3)その他の環境効果	(3) その他の環境効果
① 防塵	① <u>防塵</u>
② 大気浄化	② 大気浄化
③ 騒音防止	③ 騒音防止
2-2 景観効果	2-2 景観効果
① 緑視率調査	① 緑視率調査
② 景観向上に寄与した事例	② <u>景観向上に寄与した事例</u>
③ 景観向上に関するアンケート調査	③ <u>景観向上に関するアンケート調査</u>
2-3 防災効果	2-3 防災効果
(1) 都市型水害リスク低減効果	(1) 都市型水害リスク低減効果
(2) 樹木による延焼防止効果	(2) <u>樹木による延焼防止効果</u>
(3) 建物倒壊・落下物飛散防止効果	(3) <u>建物倒壊防止・落下物飛散防止等効果</u>
3 事業効果② 波及的效果	3 事業効果② 波及的效果
3-1 環境学習効果	3-1 環境学習効果
3-2 教育環境向上効果	3-2 教育環境向上効果
	(1) <u>施設面の環境向上</u>
	(2) <u>児童・園児の運動能力向上や自然への関心の高まり</u>
3-3 コミュニティ形成効果	3-3 コミュニティ形成効果

<p>3-4 心理的効果</p> <p>3-5 地域核の再生</p> <p>3-6 その他の効果 (1) 生物多様性の確保 (2) 健康増進効果</p>	<p>3-4 心理的効果</p> <p>3-5 <u>地域核の創出</u></p> <p>3-6 その他の効果 (1) <u>生物多様性の確保</u> (2) 健康増進効果</p>
<p>4 費用対効果</p>	<p>4 費用対効果(定量的な効果)</p>
<p>5 効果の特徴と課題</p> <p>5-1 効果の特徴</p> <p>5-2 課題 (1) 緑の量の地域的偏在 (2) 大規模な都心緑化に非対応 (3) 維持管理不良箇所が存在</p>	<p>5 効果の特徴</p> <p>5-1 <u>事業メニュー別波及効果の特徴(P)</u></p> <p>5-2 <u>事業メニュー別波及効果の具体事例</u> ・一般: 日本製鉄尼崎製造所 ・屋上: オフテクス株 ・ひろば: 豊岡市こども子育て広場 ・一般、ひろば: 惣山自治会 ・校庭庭: 西神吉認定こども園</p> <p>5-3 <u>最近の緑化のトレンド (P)</u></p>
<p>IV 今後の展開方向</p>	<p>IV <u>課題</u>と今後の方向性</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・人口集中地区における緑化を優先に推進 ・校庭庭の芝生化の推進 ・大規模都心緑化の推進 ・適切な維持管理の推進 	<p>1-1 DID区域内での緑化の推進</p> <p>1-2 暑さ対策に資する緑化</p> <p>1-3 住民団体が行なう植栽後の維持管理への支援</p> <p>1-4 子育て支援に資する緑化の推進</p>

5-2とIVを統合